令和７年度　小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人　高田福祉会	代表者	大堀　芳和
事業所名	ケアホーム笛吹の里	管理者	中村　啓一郎

法人・事業所の特徴	平成 20 年 6 月に併設するサテライト型特別養護老人ホーム笛吹の里とともに開設。のんびりと穏やかな雰囲気の事業所です。地域交流が広がり恒例となった夏の納涼祭には毎年たくさんの方から参加いただき、多世代間交流の場となっています。法人理念は「笑顔あふれる毎日」。利用される方それぞれの「その人らしい暮らし」「～したい」が少しでも実現できるように、本人の思いを大切にして、家族や地域の理解や協力をいただきながら「訪問」「通い」「泊まり」を組み合わせた柔軟な介護サービスの提供で地域での暮らしをサポートします。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	０人	２人	１人	１人	１人	１人	０人	５人	０人	１１人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			介護業務だけでも大変だと思うが、地域の活動も継続して取り組まれており、すばらしいです。	
B. 事業所のしつらえ・環境	**地域の方と交流が図れるような中庭を利用者と共に整備する**	ベンチや日さしの設置、芝桜ガーデンへ向けた整備等、過ごしやすい環境整備に励んだ。	特になし	**引き続き地域の方と利用者が交流を図れるような中庭の整備を利用者と共に行う。 芝桜拡張、くつろげる環境整備を行う予定である。**
C. 事業所と地域のかかわり	**まちづくり振興会に参加し地域のニーズを把握すると共に広報誌やＳＮＳ等を通じて事業所の役割や事業所内の様子、見学の案内などを発信し、地域に頼られる事業所を目指す**	まちづくり振興会の入会は叶わなかったが、地域交流は例年同様実施できた。 インスタグラムの定期的な発信により、笛吹の里がどういう施設か外部の方にも見えるようになり距離が縮まったように感じる。	よい取り組みをされているので、介護施設を知らない方に届くよう発信を続けてほしい。	**地域向けサロンの開催や地域の団体との活動を通じて、地域との交流を図っていく。**

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	**三郷地区、津有地区のイベントに参加（出店等も含む）**	津有地区のイベント情報があまりなく、施設としての参加はできなかった。	特になし	**地域団体や企業と連携し、社会参加や役割づくりの機会を広げる。 災害発生時の対応を整え、安心して過ごせる体制を整える**
E. 運営推進会議を活かした取組み	**運営推進会議の検討項目をより具体的な内容にすることで地域の困り事などに活かす（継続）**	検討項目を具体的にしたことで地域の状況を把握することはできた。	特になし	**運営推進会議の検討項目をより具体的な内容にすることで地域の困り事などに活かす**
F. 事業所の防災・災害対策	**今年度の改善計画を継続。**	災害時の連携について協議できた。訓練にも数名の方が参加された。	今後も地域の方が参加できる訓練を計画してほしい。	**災害時に地域の方に対し施設が提供できることを運営推進会議や広報誌、防災訓練を通じて発信する 引き続き地域の方が参加できる防災訓練を計画していく**